

教科	保健体育	学年	第2学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 学び方や安全な行い方	3	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した学習に主体的に取り組み、理解できるようにする。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、理解している。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
保健編3章 健康な生活と病気の予防	10	健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題を発見し、その解決を目指した学習に主体的に取り組み、理解できるようにする。	健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、理解している。	健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組もうとしている。
保健編4章 傷害の防止	8	傷害の発生要因およびその防止について、課題を発見し、その解決を目指した学習に主体的に取り組み、理解できるようにする。	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因、交通事故などによる傷害の防止、自然災害による傷害の防止、応急手当の意義と実際について理解し、心肺蘇生法などの技能を身につけている。	傷害の防止に関わる事象や情報から自他の課題を発見し、危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	傷害の防止について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
体づくり運動	4	○自他の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。 ○心と体をほぐしたり、体力を高めたりすることができるようにする。	○体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	○自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようということ、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようということ、話合いに参加しようということなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
陸上	28	○短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走れるようにする。 ○長距離走ではペースを守り、一定の距離を走れるようにする ○ハードル走では、滑らかにハードルを越せるようにする。	○陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡してタイミングを合わせることができる。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。	○動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	○陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうということ、分担した役割を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようということなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
水泳	12	○クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができるようにする。 ○平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができるようにする。 ○背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができるようにする。	○水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。	○泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	○水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうということ、分担した役割を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようということなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
器械運動	8	○器械の特性に応じて、多くの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ○切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行えるようにする。	○器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	○技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	○器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようということ、仲間の学習を援助しようということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようということなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
球技	20	○ゴール型では、ボール操作と空間に走りこむなどの動きによって、ゴール前での攻防を展開することができるようにする。 ○ペースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができるようにする。	○球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ペースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうということ、作戦などについての話合いに参加しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようということ、仲間の学習を援助しようということなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
球技	20	○ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。 ○ゴール型では、ボール操作と空間に走りこむなどの動きによって、ゴール前での攻防を展開することができるようにする。	○球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうということ、作戦などについての話合いに参加しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようということ、仲間の学習を援助しようということなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
ダンス	12	○仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージをたどって自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ○仲間の良さを認め合い、健康や安全にも気を配ることができるようにする。	○ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。	○表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようということ、交流などの話合いに参加しようということ、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようということなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。